

1・部長挨拶(諸江部長)

2. 大会開催関係

①令和3年度全国高等学校総合体育大会(福井県)

1) 実施要項等について

- ・開会式は実施する。開会式の国歌、高体連歌はCDで流す。選手宣誓はカットする
- ・式後に「高体連功労者表彰(釜井前部長・山西前常任員)」を入れる
- ・プログラム編成会議の実施場所を変更した→AW-I スポーツアリーナから越前市役所大会議室へ
- ・用具検査の簡略化→マスク、メタルジャケット及びカフのみ、合格証は、スタンプ対応
- ・用具の貸し借りは禁止、「監督の皆様へ」で通知する
- ・アカデミー出身者は、サーブルのみ1名、個人戦シード選手の確認は多田常任委員が行う
- ・鹿児島大会の入賞については、シード対象としない
- ・配宿は、広域になる。遠隔地は、往復シャトルバスを出す予定。武生駅一会場間もシャトルバスを検討している

- ・開館は、8時。6時朝食にしないと間に合わない宿舎もある

→プログラム編成会議の時に開館・競技開始時間について再検討する

- ・本部役員宿舎の変更→武生駅前のクラウンヒルズから鯖江駅前のアルファワンへ
- ・写真撮影の時間を取る予定、報道関係者をフロアに入れて良いか→表彰の時のみ入れて良い
- ・ピストは、本部に向けて配置した

- ・練習会場は4か所用意した。サブアリーナのみ入場制限を設けたい

→1時間から1時間半に1回10分程度消毒・換気の時間を設定し、選手・監督に練習場から出てもらおう

※タイムテーブルは、実行委員会で作成する

- ・サブアリーナでの審判器は使用不可。それ以外の練習会場は使用可
- ・大会は、無観客試合となる。保護者、コーチ、エントリー以外の部員も入場不可

→サポート選手は、男女別学校1名とする

- ・学校の管理職も入場不可、都道府県高体連視察については実行委員会の判断、大学関係者については選手の進路に関わるので申請してもらい入場可とする

- ・審判員の人数を40人から30人に減らしたい→了承
- ・引率責任者にもIDカードを発行してほしい→実行委員会で対応
- ・IDカードの無い者は、競技会場、練習会場共に入場不可

- ・健康チェックシートは、全国高体連の出したシートを毎日提出。ワンタップは使用しない

2) コロナ対応について→選抜大会同様、専門部からも通知する

- ・福井県では、全国高体連の指針では不十分だと考えている。16日の会議で確認をしたい
- ・フェンシング専門部としては、2週間前に感染・濃厚接触が判明した場合は該当選手のみ、3日前に判明した場合にはチーム全体出場辞退とする

※諸江部長と松本競技委員長が16日の会議に参加し、それを受けて決定する

- ・感染者と対戦してしまった場合、対戦相手については棄権せず、出場を継続させる
- ・出入り口については、1か所にしてほしい

②令和3年度全国高等学校選抜大会(熊本県)

- ・期日、競技会場、練習会場、会議場等について説明あり
  - ・ピスト配置については、本部に向くように縦並びで配置した
  - ・ピストピストの間隔は6m取った。福井並みの4mにすると余裕を持たせることができる
- 福井並みの4mで組み替える
- ・大会旗・協会旗の掲揚は、後方になる
  - ・配宿に関しては、初日500室、最終日400室を確保。本部宿舎は、アークホテルを予定

③令和4年度全国高等学校総合体育大会(香川県)

- ・期日、会場、アクセス、会議日程等進捗状況について説明あり
- ・参加申込締切(ア)は登録担当和田、申込期限は、令和4年6月30日(木)を確認
- ・プログラム編成は、7月7日(木)15:00~9日(土)、会場は、高松市総合体育館

- ・諸会議は高松市総合体育館で行うが、全国委員会は高松駅徒歩 5 分のレグザムホールで行う。移動は、バスを用意する。
- ・会場レイアウトは、ステージ側に本部を設置し 10 ピスト、間隔は 5.5m を予定している
- ・用具検査項目については、福井大会で検証し判断する
- ・練習会場は全て体育館内で用意した

### 3. 種目検討委員会（恒松副部長）

- ・エペ、サーブルについて選抜大会同様、インターハイでも三種目平等に出場機会を増やしたい。そのためエペ、サーブルの個人出場枠を 1 増やし、学校対抗登録を 1 減とする
- ・インターハイ参加人数は、毎年 570 前後で推移している。この内 180 名程度が 2 種目出場している。種目を増やすと 180 名ほど増えることになる
- ・日程を増やすことが出来ない問題をどう解決する？→開会式当日から競技を開始する選抜方式でどうか
- ・上記の案を方針とする方向で全国委員会へ提案し、参加人数とタイムテーブルは再度検討する

### 4. 全日本の選手権団体戦への高体連推薦基準大会の変更（諸江部長）

- ・現行では、エペ・サーブルは選抜優勝校、フルーレは総体優勝・準優勝校を推薦している
- ・近年インターハイ前に全日本予選を行うブロックがあり、そこで出場権を得た学校がインターハイでも出場権を獲得した場合、そのブロックのトラブルになる事案が発生していることから、3 種目ともに選抜大会を推薦基準大会としたい
- ・全国委員会へ提案し、来年から適用する

### 5. 違反と罰則について（根岸副部長）

- ・T の罰則は入れなくても良いか。FIE では、0.5 にあると聞いた
- ・日本協会版は欄外に規定されているので、高体連版にも入れる。笹田常任委員が確認し、日付は本日付で入れ、根岸と福井県の中西へ送付

### 6. 選抜大会の抽選方法の変更について（多田常任委員）

- ・出場枠の多いブロックから抽選してゆく方法に変更したい
- ・出場校が 24 校に満たない場合は、まず 24 校出場として抽選し、最後に残った場所を削除する
- ・常任委員会で再度検討し、全国委員会へ提案する